

## 第1会場 ●大ホール（2F）

< 10月10日（土）>

### 市民公開講座 11:00～12:00

43

座長：荒牧 勇 中京大学スポーツ科学部競技スポーツ科学科

- 1-PS 努力する「姿勢」を見つめる  
堀島 行真（トヨタ自動車株式会社）

### ジョイントセッション1（日本正常圧水頭症学会）※スイーツセミナー 15:45～17:15 共催：Integra Japan 株式会社 55

“Preventable Falls”として再注目される Hakim 病（iNPH）

座長：山田 茂樹 名古屋市立大学脳神経外科 医師  
座長：伊関 千書 山形県立保健医療大学理学療法学科 医師

- 1-JS1-1 “Treatable Dementia”から“Preventable Falls”へ～再注目される Hakim 病（iNPH）～  
山田 茂樹（名古屋市立大学脳神経外科 医師）
- 1-JS1-2 Hakim 病患者はなぜ転倒するのか？  
伊関 千書（山形県立保健医療大学理学療法学科 医師）
- 1-JS1-3 Hakim 病に特異的な易転倒性の評価  
二階堂 泰隆（大阪医科薬科大学病院リハビリテーション科 理学療法士）
- 1-JS1-4 Hakim 病（iNPH）は、シャント手術で転倒を予防できるか？  
鯨島 直之（東京共済病院脳神経外科 医師）

### 指定シンポジウム1 17:20～18:20

95

在宅における生活期の転倒予防

座長：平松 知子 金沢医科大学看護学部老年看護学 看護師  
座長：加藤 真由美 金沢大学医薬保健研究域保健学系看護科学領域臨床実践看護学講座 看護師

- 1-DS1-1 在宅高齢者の排泄機能の変化と転倒予防  
正源寺 美穂（金沢大学医薬保健研究域保健学系老年リハビリテーション看護学分野 看護師）
- 1-DS1-2 令和6年能登半島地震におけるリハビリテーション専門職としての転倒予防への関わり  
～避難所や仮設住宅での活動報告～  
福井 清美（金沢医科大学病院リハビリテーションセンター主任 作業療法士）

< 10月11日（日）>

### 大会長公演 8:30～8:55

41

座長：萩野 浩 独立行政法人労働者健康安全機構山陰労災病院 医師

- 1-PA 健康寿命延伸のハブとなる転倒予防～つなげる、深める、実践する～  
饗場 郁子（独立行政法人国立病院機構東名古屋病院 医師）

サルコペニア対策と転倒予防

座長：葛谷 雅文 名古屋鉄道健康保険組合名鉄病院 医師

座長：山田 実 筑波大学人間系

1-JS3-1 GLIS と AWGS2025

前田 圭介 (愛知医科大学栄養治療支援センター 医師)

1-JS3-2 サルコペニア・フレイルに対する栄養療法～ガイドライン 2025 を中心に～

葛谷 雅文 (名古屋鉄道健康保険組合名鉄病院 医師)

1-JS3-3 サルコペニアに対する運動介入のエビデンス

牧迫 飛雄馬 (鹿児島大学医学部保健学科 理学療法士)

1-JS3-4 サルコペニアと転倒・骨折

山田 実 (筑波大学人間系)

スポンサードセミナー 10:35 ~ 11:35

共催：株式会社 Magic Shields

133

座長：大高 洋平 藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座 医師

1-SS 転倒衝撃吸収床材による脆弱性大腿骨近位部骨折の予防～産官学連携の取り組み～

王 耀東 (東京科学大学医歯学総合研究科整形外傷外科治療開発学講座 医師)

ランチョンセミナー 1 11:45 ~ 12:45

共催：エーザイ株式会社

127

座長：武藤 芳照 東京健康リハビリテーション総合研究所 所長 / 日本転倒予防学会初代理事長・名誉会員 / 東京大学名誉教授

1-LS1-1 早期からの ALS 診療

熱田 直樹 (愛知医科大学医学部内科学講座 (神経内科) 医師)

1-LS1-2 筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 患者の転倒

豎山 真規 (国立病院機構岩手病院脳神経内科 医師)

ジョイントセッション 5 (日本認知症ケア学会, 日本医療安全学会) 13:15 ~ 14:15

79

病院における認知症高齢者の転倒予防からはじまる身体拘束最小化

座長：鈴木 みずえ 静岡県立大学看護学部 / 国立長寿医療研究センター在宅医療・地域医療連携推進部 / 浜松医科大学臨床看護学講座 看護師

1-JS5-1 身体拘束最小化に必要な認知症の人のパーソン・センタード・ケアの視点

鈴木 みずえ (静岡県立大学看護学部 / 国立長寿医療研究センター在宅医療・地域医療連携推進部 / 浜松医科大学臨床看護学講座 看護師)

1-JS5-2 病院における認知症高齢者の転倒予防から始まる身体拘束最小化

河島 智子 (磐田市立総合病院看護部 看護師)

1-JS5-3 身体拘束を減らしたいが減らせない～急性期病院医師の意識調査からみえた課題～

山崎 薫 (磐田市立総合病院整形外科 医師)

## 1-JS5-4 認知症高齢者に対する転倒予防と身体拘束における法的考慮

大磯 義一郎（浜松医科大学医学部総合人間科学講座法学 医師，弁護士）

**ジョイントセッション 6（日本脳神経外傷学会） 14：25～15：25****85****転倒転落死のカギを握る頭部外傷～どう防ぎ，どう治療する？～**

座長：山田 茂樹 名古屋市立大学脳神経外科 医師

座長：鮫島 直之 東京共済病院脳神経外科 医師

## 1-JS6-1 転倒転落死のカギを握る頭部外傷～どう防ぎ，どう治療する？～

刈部 博（日本脳神経外傷学会 理事長 / 仙台市立病院脳神経外科 医師）

## 1-JS6-2 慢性外傷性脳症研究から考える転倒予防の新たな視点～脳画像から見た頭部外傷の長期的変化～

宮田 真里（国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（QST）主任研究員・放射線科）

**ジョイントセッション 7（日本リハビリテーション医学会） 15：30～17：00****89****回復期リハビリテーション過程の活動向上と転倒**

座長：勝谷 将史 社会医療法人甲友会西宮協立リハビリテーション病院 医師

座長：大高 洋平 藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座 医師

## 1-JS7-1 当院における身体拘束に頼らない転倒予防の取り組み

竹内 翔（初台リハビリテーション病院 医師）

## 1-JS7-2 回復期リハビリテーション過程の活動向上と転倒

勝谷 将史（社会医療法人甲友会西宮協立リハビリテーション病院 医師）

## 1-JS7-3 活動性向上と転倒予防の両立～地域生活の継続支援まで～

福江 亮（西広島リハビリテーション病院リハビリテーション部 理学療法士）

## 1-JS7-4 活動性向上と転倒予防を両立するための共通認識の形成

～回復期リハビリテーション病棟における患者教育と情報共有～

井上 靖悟（東京湾岸リハビリテーション病院理学療法科 理学療法士）

## 1-JS7-5 大学病院の特定機能リハビリテーション病棟における転倒予防～課題と実践～

松浦 大輔（藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座 医師）

## 第2会場 ●小ホール1（5F）

< 10月10日（土） >

ジョイントセッション2（日本フットケア・足病医学会）※スイーツセミナー 15：45～17：15

61

転倒予防のための足の知識～足を守る視点から見直す転倒リスク～

座長：高山 かおる 済生会川口総合病院／足育研究会 医師

座長：門野 邦彦 南和広域医療企業団五條病院整形外科 医師

### 2-JS2-1 足病重症化予防と転倒予防の接点

榊 聡子（春日部中央総合病院医療安全管理室 理学療法士）

### 2-JS2-2 整形外科病棟入院患者に対するフットケアの取り組み

門野 邦彦（南和広域医療企業団五條病院整形外科 医師）

### 2-JS2-3 職場での身体トラブルを防ぐ～足病予防の観点からみた安全靴の課題～

菊池 恭太（下北沢病院整形外科 医師）

### 2-JS2-4 高齢者の足爪トラブルと生活機能低下

高山 かおる（済生会川口総合病院／足育研究会 医師）

< 10月11日（日） >

ジョイントセッション4（日本脆弱性骨折ネットワーク） 9：00～10：30

73

急性期から維持期までの二次性骨折予防のトータルケア～薬剤治療と転倒予防～

座長：山本 智章 新潟リハビリテーション病院 医師

座長：金森 雅夫 羽衣国際大学人間生活学部 医師

### 2-JS4-1 FFN-J NHFD からみた二次性骨折予防と歩行能力の推移について

加藤 成隆（福島県立医科大学外傷学講座／総合南東北病院外傷センター 医師）

### 2-JS4-2 回復期病院の転倒骨折予防

田中 雅博（社会医療法人生長会ベルピアノ病院整形外科骨粗鬆症センター 医師）

### 2-JS4-3 理学療法士主導の骨折リエゾンサービスによる二次性骨折予防の取り組み

～急性期から回復期・維持期への連携を中心に～

田中 暢一（ベルランド総合病院クオリティ管理センター FLS 推進室／ベルランド総合病院理学療法室 理学療法士）

### 2-JS4-4 二次性骨折予防における作業療法士の関わりと視点

村山 拓也（新潟リハビリテーション病院リハビリテーション部作業療法科 作業療法士）

**指定シンポジウム 3 10:35～11:35****101****スポーツにおける転倒・外傷予防**

座長：紙谷 武 中京大学スポーツ科学部 医師

座長：佐藤 紀 徳島大学病院リハビリテーション部 医師

**2-DS3-1 柔道における転倒外傷予防**

紙谷 武（中京大学スポーツ科学部 医師）

**2-DS3-2 転倒を前提としたスポーツにおける安全対策～ラグビーの Player Welfare から考える生涯スポーツ～**

高澤 祐治（順天堂大学スポーツ医学 医師）

**2-DS3-3 スポーツにおける転倒・外傷予防（スキー）**

石毛 勇介（国立スポーツ科学センター科学研究部門 主任研究員）

**2-DS3-4 スポーツにおける転倒・外傷予防～スケート～**

渡邊 耕太（札幌医科大学医学部スポーツ医学講座 医師）

**ランチョンセミナー 2 11:45～12:45****131**

座長：奥泉 宏康 上田市武石診療所 医師

**2-LS2 転倒の実際と転倒予防実践ガイドの意義**

山田 実（筑波大学人間系）

**指定シンポジウム 5 14:25～15:25****111****職場における転倒予防**

座長：中地 建太 厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課

**2-DS5-1 正しさだけで、人は動かない～社員が主役の参加型コンテンツ開発の実践～**

豊田 麻衣子（フジッコ株式会社）

**2-DS5-2 徹底的な DX 化による介護現場の腰痛・転倒ゼロへの挑戦**

～職員が健康で長く働き続けられる職場づくり～

大村 美穂（社会福祉法人スマイリング・パーク特別養護老人ホームほほえみの園 生活相談員）

**2-DS5-3 職場における転倒予防～シニア世代が長く健康に働き続けられるために～**

酒井 由依（株式会社三五安全健康部健康推進室健康推進 G 保健師）

地域で守るロコモ予防・転倒予防の多職種多施設の取り組み

座長：佐藤 公治 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 医師

座長：平田 好文 医療法人堀尾会熊本託麻台リハビリテーション病院脳神経外科 医師

2-CS2-1 熊本県における『転倒骨折しない街づくり』活動と『フレイル予防教室』

～2035年に向けた健康寿命延伸と災害対策～

平田 好文（医療法人堀尾会熊本託麻台リハビリテーション病院脳神経外科 医師）

2-CS2-2 健康寿命の延伸をめざす地域リハビリテーション活動～フレイル予防とまちづくりを支える多職種連携～

佐藤 吉沖（医療法人銀門会甲州リハビリテーション病院 医師）

2-CS2-3 急性期病院での転倒予防の取り組みから地域へ

稲葉 竣也（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院リハビリテーション科・整形外科 /  
NPO 法人名古屋整形外科地域医療連携支援センター 理学療法士）

2-CS2-4 在宅医療を起点とした多職種によるロコモ・転倒予防の仕組みづくり

～整形外科在宅クリニックの実践から～

告野 英利（ほねなび整形在宅クリニック 医師）

2-CS2-5 八事整形会・八事整形医療連携会の25年の取り組み

寺本 隆（寺本整形外科・内科 Liaison Clinic 医師）

### 第3会場 ●小ホール2（5F）

< 10月10日（土） >

**公募シンポジウム 1 ※スイーツセミナー 15:45～17:15**

**115**

**高齢者の自律と健康寿命の延伸をめざした転倒・骨折予防のための多職種連携可視化ツールの開発**

座長：鈴木 みずえ 静岡県立大学看護学部 / 国立長寿医療研究センター在宅医療・地域医療連携推進部 / 浜松医科大学臨床看護学講座 看護師

座長：山崎 薫 磐田市立総合病院整形外科 医師

#### 3-CS1-1 転倒・骨折予防のための多職種連携可視化ツールの概要と転倒・骨折予防対策

鈴木 みずえ（静岡県立大学看護学部 / 国立長寿医療研究センター在宅医療・地域医療連携推進部 / 浜松医科大学臨床看護学講座 看護師）

#### 3-CS1-2 転倒・骨折予防におけるチャンピオンドクターの役割

～ OLS の経験から多職種連携可視化ツールを考える～

山崎 薫（磐田市立総合病院整形外科 医師）

#### 3-CS1-3 理学療法士・作業療法士の転倒・骨折予防における役割

岩瀬 善之（浜松市リハビリテーション病院リハビリテーション部 理学療法士）

#### 3-CS1-4 看護師の転倒・骨折予防における役割

牧野 真弓（金沢大学能登里山里海未来創造センター / 浜松医科大学 / 静岡県立大学 / 国立長寿医療研究センター 保健師）

#### 3-CS1-5 デルファイ法による転倒・骨折予防の管理栄養士役割定義

～多職種連携を円滑にする可視化ツールの開発と活用～

石川 英子（羽衣国際大学人間生活学部食物栄養学科 管理栄養士，介護支援専門員）

< 10月11日（日） >

**指定シンポジウム 2** 9:00～10:30

99

**急性期における転倒予防**

座長：天野 力郎 国民健康保険富士吉田市立病院 医師

座長：黒川 美知代 日本赤十字社医療事業推進本部医療の質・研修部 看護師

**3-DS2-1 AI 歩行解析アプリ Gait Analyzer Insight（G-AI）を用いた入院時転倒リスク評価  
～三次救急病院での検討～**

永田 千恵（名古屋市立大学病院看護部 看護師）

**3-DS2-2 急性期転倒予防を再定義する～「リスク評価」から「文脈に応じた予防」へ～**

小林 浩介（広島市立北部医療センター安佐市民病院 理学療法士）

**3-DS2-3 人工関節置換術後患者における急性期データを用いた転倒の発生時期および頻度別リスク因子の検討**

藤原 秀平（名古屋人工関節整形外科リハビリテーション科 理学療法士）

**3-DS2-4 急性期病棟における転倒ハイリスク者の同定と予防的センサー導入の効果**

徳久 謙太郎（医療法人友誼会友誼会総合病院 理学療法士）

**指定シンポジウム 4** 10:35～11:35

107

**子どもの転倒予防の研究と実践**

座長：岡田 真平 公益財団法人身体教育医学研究所

座長：今井 夏子 国立成育医療研究センター政策科学研究部

**3-DS4-1 ライフコースアプローチで考える転倒予防～子ども期の重要性に着目して～**

城所 哲宏（日本体育大学体育学部）

**3-DS4-2 保健室から見る小学生のケガを通して、転倒予防を考える**

錦織 志子（長野県佐久市立東小学校 養護教諭 / 国立成育医療研究センター政策科学研究部 / 日本体育大学）

**教育セミナー 1** 14:25～14:55

45

座長：近藤 和泉 独立行政法人東京都健康長寿医療センターリハビリテーション科 医師

**3-ES1 転倒・外傷予防のために知っておきたいパーキンソン病の病態と治療**

渡辺 宏久（藤田医科大学医学部脳神経内科学 教授，医師）

**教育セミナー 2** 14:55～15:25

47

座長：奥泉 宏康 上田市武石診療所 医師

**3-ES2 転倒・外傷予防のために知っておきたい脊椎疾患～歩行障害・姿勢異常を見逃さず，診断から治療へ～**

今釜 史郎（名古屋大学医学部整形外科学 / リウマチ学 主任教授，医師）

**教育セミナー 3** 15:30～16:00

49

座長：藤末 洋 医療法人社団雄敬会藤末医院 医師

- 3-ES3 転倒・外傷予防のために知っておきたい排尿ケア～近い・漏れるを侮るなかれ！～  
吉川 羊子（小牧市民病院泌尿器科排尿ケアセンター 部長，医師）

**教育セミナー 4** 16:00～16:30

51

座長：金澤 悟 有限会社堀野調剤薬局，二戸薬剤師会

- 3-ES4 転倒予防のために知っておきたい薬の知識  
斎藤 剛志（杵記念病院薬剤科 科長，薬剤師）

**教育セミナー 5** 16:30～17:00

53

座長：岡田 真平 公益財団法人身体教育医学研究所

- 3-ES5 外傷予防のために知っておきたい「柔道の受け身」を活用した安全な転び方  
紙谷 武（中京大学スポーツ科学部 教授，医師）

< 10月10日（土） >

ポスター1 17:20～18:25

137

多職種連携

座長：梅原 里実 高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科 看護師

4-1-1 当院における転倒予防ラウンドの取り組み～予防策の定着と重症化回避をもたらした要因の分析～  
飯野 朝美（上尾中央第二病院リハビリテーション科）

4-1-2 転倒予防チームラウンドの活動改善報告について  
山口 佑太（市立福知山市民病院看護部）

4-1-3 患者協働による転倒予防ラウンドの実践と今後の課題  
三橋 朋子（地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立神経病院看護部）

4-1-4 精神科病院における転倒ラウンドの効果  
塩満 明日香（八事病院精神科）

4-1-5 重症転倒予防を見据えた多職種転倒後迅速ラウンドの有用性  
戸倉 英里（総合病院山口赤十字病院）

4-1-6 転倒防止を目的とした外来エリア巡視ラウンドの実践報告  
坪谷 夢音（伊奈病院臨床工学科）

4-1-7 転倒予防指導士を有する療法士が関わる急性期病院転倒予防ラウンド体制の構築と運用変化  
射場 靖弘（鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション部）

4-1-8 転倒転落予防対策を多職種連携で取り組んだ実践報告  
泉谷 元子（医療生協さいたま埼玉西協同病院リハビリテーション科）

4-1-9 夜間トイレ排泄行動に関連する転倒・骨折予防に対する多職種ベッドサイドカンファレンス導入の  
取り組み  
中里 隼也（十和田市立中央病院リハビリテーション科）

## リハビリテーション

座長：川村 皓生 国立研究開発法人国立長寿医療研究センターリハビリテーション科部 理学療法士

- 4-2-1 急性期病院における転倒・転落の傾向とリハビリテーション介入状況の検討  
鈴木 亮馬（磐田市立総合病院リハビリテーション技術科）
- 4-2-2 寄り添いロボットを使用した高難度バランストレーニングが運動能力と転倒恐怖感に与える影響  
～無作為化対照試験による検証～  
大井 慶太（鵜飼病院リハビリテーション部）
- 4-2-3 多施設におけるリハビリテーション中転倒事故の発生傾向  
～施設規模・時間帯・曜日・季節性に着目して～  
小林 昂将（緑成会病院リハビリテーション部）
- 4-2-4 回復期病棟における転倒・転落による骨折回避の取り組み報告～物的資源の有効活用を通して～  
寺側 優里（上尾中央第二病院医療安全管理課）
- 4-2-5 急性期病院に併設された回復期リハビリテーション病棟における転倒患者の特徴の検討  
大嶋 俊範（荒尾市立有明医療センター脳神経内科）
- 4-2-6 回復期リハビリテーション病棟における脳卒中患者の日常生活動作の自立度と体幹機能の関連性  
櫻井 大輔（小平中央リハビリテーション病院リハビリテーション科）
- 4-2-7 リハビリテーション病棟に入院中の患者における転倒状況の分析  
～退院時移乗自立可否に着目した転倒プロファイルの違い～  
遠藤 千春（藤田医科大学羽田クリニックリハビリテーション部）
- 4-2-8 転倒転落リスク評価の統一化を目的とした安全評価テンプレート作成の取り組み  
伊豆原 亮（医療法人三九会三九朗病院リハビリテーション部）
- 4-2-9 動画より転倒姿勢を推定する手法の改良および危害の推定  
園部 大和（信州大学大学院総合理工学研究科）

## 基礎研究

座長：水野 幸治 名古屋大学大学院工学研究科機械システム工学専攻

- 4-3-1 地域在住高齢者の転倒には歩行の Mental chronometry が関連する～2つの歩行課題の横断解析より～  
篠原 智行（高崎健康福祉大学保健医療学部）
- 4-3-2 加速度データを用いた転倒リスク評価の検討～TUG および SS-5 を介した事後確率への応用可能性～  
原 茂之（近畿大学奈良病院リハビリテーション部）
- 4-3-3 支持脚の縫工筋と大腿直筋の協働に関わる幾何学的視点について  
長谷川 昌司（北浜ダンススタジオ）
- 4-3-4 加齢に伴う視覚階層処理の変化と身体運動機能との関連  
山下 眞智子（熊本大学大学院人文社会科学部人間・社会科学専攻博士後期課程3年）
- 4-3-5 受動的鉛直揺動の周波数が立位姿勢制御に及ぼす即時的影響  
野入 康介（中京大学大学院スポーツ科学研究科）
- 4-3-6 足関節ロボットアシスト歩行練習とパターン電気刺激の併用が平地歩行における minimum toe clearance に与える効果  
田中 彩織（順天堂大学保健医療学部理学療法学科）
- 4-3-7 多職種で捉えるシルバーカー使用時の転倒リスク～行動観察とセンサ計測による段差昇段分析～  
行平 悠晟（東京科学大学工学院機械系）
- 4-3-8 転倒歴の有無による安静時胸腹部呼吸運動の特徴～深度センサを用いた検討～  
香川 栄一郎（一般社団法人JA 共済総合研究所医療研究研修部）
- 4-3-9 PFJ-OA スクリーニングと予知予防アセスメントの指標化に繰返し荷重屈伸摩擦信号による試み  
長尾 光雄（有限会社 ITC）

## 神経疾患

座長：寶珠山 稔 名古屋大学脳とこころの研究センター基盤整備部門 医師

- 4-4-1 在宅パーキンソン病患者に対する神経筋電気刺激装置を用いた家族によるケアが下肢機能と移乗動作能力に及ぼす影響  
永木 和載（株式会社フリーステーション）
- 4-4-2 認知機能低下を伴うパーキンソン病患者の「動きたい」意思を尊重した転倒予防  
竹島 葵唯（藤田医科大学病院看護部 A-8S 病棟）
- 4-4-3 進行性核上性麻痺における後進歩行と転倒頻度との関連  
松田 直美（国立病院機構東名古屋病院リハビリテーション科）
- 4-4-4 進行性核上性麻痺患者の転倒に対する短期集中リハビリテーション入院の効果検証  
～ランダム化比較試験プロトコル～  
澤田 誠（令和健康科学大学リハビリテーション学部理学療法学科）
- 4-4-5 当院における特発性正常圧水頭症（iNPH）患者のタップテスト前後評価の現状と課題  
～臨床活用に向けた後方視的検討～  
比地岡 亮介（平塚共済病院リハビリテーション科）
- 4-4-6 両下肢のひきずり足が顕著な特発性正常圧水頭症（iNPH, Hakim's disease）の1例  
伊関 千書（山形県立保健医療大学理学療法学科）
- 4-4-7 シャルコー・マリー・トゥース病における転倒の実態  
橋本 里奈（国立病院機構東名古屋病院脳神経内科）
- 4-4-8 脳神経内科・脳神経外科病棟における多職種転倒・転落カンファレンスの取り組みと効果  
中山 ひとみ（荒尾市立有明医療センター看護部）

## 地域在住高齢者

座長：北湯口 純 雲南市立身体教育医学研究所うんなん 健康運動指導士

- 4-5-1 地域在住高齢者の転倒とヘルスリテラシーの関係について～横断研究～  
村山 明彦（群馬医療福祉大学）
- 4-5-2 地域在住中高齢者におけるサルコペニアと4年後の転倒不安感発生との関連  
三宅 悠斗（鹿児島大学医学部保健学科）
- 4-5-3 地域在住高齢者の転倒不安（FES-I）とバランス・歩行能力および運動習慣の関連  
松井 健（追手門学院大学社会学部）
- 4-5-4 地域在住高齢者の転倒歴と身体機能・体組成との関連性～性差に着目した検討～  
近藤 友梨重（名古屋大学医学部保健学科理学療法学専攻）
- 4-5-5 地域在住高齢者の転倒予防セルフケア行動評価尺度の開発  
内山 昌代（浜松医科大学大学院医学系研究科）
- 4-5-6 障害者と高齢者の交流を視座に置いたインクルーシブ型転倒予防教室～3年目の活動紹介～  
村山 明彦（群馬医療福祉大学）
- 4-5-7 動画を用いた日本における高齢者の転倒予防介入研究に関する文献レビュー  
小野 淳二（下関市立大学看護学部看護学科）
- 4-5-8 日本の地域在住高齢者における転倒に対する懸念の有訴率～文献レビューとメタアナリシス～  
西田 涼（鹿児島大学大学院保健学研究科）

## ポスター 6 17:20～18:25

167

## 内視鏡・がん・薬剤

座長：井上 佑美 独立行政法人国立病院機構東名古屋病院薬剤部 薬剤師

- 4-6-1 内視鏡鎮静時の薬剤使用と環境因子や排泄行動が転倒転落リスクに与える影響と予防策の検討  
見田 桃花（札幌徳洲会病院看護部 4 階東病棟）
- 4-6-2 内視鏡検査、処置後の転倒転落予防策において院内統一を目指した差異の検討  
河津 和樹（社会福祉法人恩賜財団済生会滋賀県病院看護部 9 階東病棟）
- 4-6-3 消化器内科病棟における鎮静薬を使用した内視鏡検査・治療後の転倒・転落防止に対する取り組みと課題  
横山 裕子（総合病院聖隷三方原病院看護部）
- 4-6-4 眼科外来における視覚障害患者の転倒・転落インシデント分析に基づく環境整備と視覚情報共有体制の構築  
鈴木 留美奈（富士吉田市立病院視能訓練士）
- 4-6-5 地域がん診療連携病院における転倒予防対策の実態（第一報）  
～がん患者に関わる看護師への無記名質問紙調査より～  
油野 規代（学校法人新田塚学園福井医療大学看護学科）
- 4-6-6 院内転倒前後での活動量の変化の可視化と多職種情報共有の取り組み  
～転移性脳腫瘍を伴った肺癌患者の 1 例を通して～  
佐藤 紀（徳島大学病院リハビリテーション部）
- 4-6-7 前立腺癌アンドロゲン除去療法後の体組成・転倒リスク関連指標の推移  
永江 浩史（ながえ前立腺ケアクリニック）
- 4-6-8 オレキシン受容体拮抗薬を導入し、夜間の転倒件数が減少した結果報告  
田口 浩明（町田市民病院東 7 階病棟（脳神経外科・泌尿器科））
- 4-6-9 院内転倒に伴う頭部外傷とリスペリドン使用との関連  
石川 遥也（金沢大学医薬保健学総合研究科医科学専攻）

入院患者 1 急性期リスク評価

座長：田中 和美 群馬大学大学院医学系研究科医療の質・安全学講座 医師

- 4-7-1 急性期病棟における転倒転落要因の分析とアセスメント項目の検討  
鎌田 大樹（札幌孝仁会記念病院）
- 4-7-2 急性期病院の混合病棟における転倒予防の Evidence-Based Practice（EBP）実装とその評価  
飯塚 華恋（千葉大学医学部附属病院看護部）
- 4-7-3 転倒予防アプリの基礎データ構築に向けた場所別リスク分析  
今枝 秀二郎（株式会社日建設総合研究所都市部門）
- 4-7-4 ランダムフォレストを使用して交互作用を検討した入院患者の転倒・転落危険度の予測  
～診療記録を使用した後ろ向き研究～  
竹川 徹（千葉県立保健医療大学リハビリテーション学科理学療法学専攻）
- 4-7-5 複数の医療機関における入院患者の転倒転落インシデント事例の特徴分析  
川村 皓生（国立長寿医療研究センターリハビリテーション科部）
- 4-7-6 複数回転倒・転落を起こした患者 A のインシデント分析からみえる今後の課題  
柳田 礼子（岡村記念病院病棟）
- 4-7-7 レベル 3b 以上の転倒転落発生要因の分析と医療安全管理者の取り組み  
寺井 知代子（心臓血管センター金沢循環器病院医療安全管理室）
- 4-7-8 転倒リスク評価の AI 一本化に向けた入院初期の課題  
坂元 憲朗（磐田市立総合病院リハビリテーション技術科）

## ポスター 8 13:15～14:20

179

## 入院患者 2 介入

座長：射場 靖弘 鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション部 作業療法士

- 4-8-1 プライバシーに配慮されたシルエット画像記録を用いた病室内転倒の実態分析～予備的検討～  
近藤 輝（藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座）
- 4-8-2 転倒予防に向けたトレーニングの効果  
吉田 光代（大垣市民病院看護部）
- 4-8-3 ベッド転落リスクの高い知的障害患者に対する畳ベッド導入と多職種環境調整の一症例  
岩下 草太（磐田市立総合病院リハビリテーション技術科）
- 4-8-4 院内デイケアの転倒予防効果  
大西 邦明（JA 愛知厚生連安城更生病院看護部）
- 4-8-5 転倒予防のためのマット型離床センサー使用状況可視化による適正配置と運用上の課題  
日野 純子（石巻赤十字病院看護部）
- 4-8-6 地域包括ケア病棟高齢者における転倒転落リスク因子の後方視的解析  
猿渡 佳子（社会医療法人社団高野会くるめ病院看護部）
- 4-8-7 ピクトグラムを活用した安静度表示導入の効果  
～地域包括ケア病棟における安全性向上と業務効率化の検討～  
相馬 明世（東北中央病院看護部）
- 4-8-8 当院における安全対策ピクトグラムの運用開始後のアンケート調査報告  
内藤 宏典（医療法人三九会三九朗病院リハビリテーション部）
- 4-8-9 東名古屋病院公式キャラクター『ウメモリん』を活用した転倒予防啓発活動の概況  
湊 大治郎（独立行政法人国立病院機構東名古屋病院看護部）

整形外科疾患 1

座長：松本 浩実 川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部理学療法学科 理学療法士

- 4-9-1 転倒時における大腿骨頸部荷重を再現するための体格の異なる人体モデルを用いた大腿部衝撃試験システムの構築  
榊原 尚希（名古屋大学工学研究科機械システム工学専攻自動車安全工学研究室）
- 4-9-2 大腿骨近位部骨折に至る転倒はいつ起こるのか～時間帯・季節・屋内外からの検討～  
森本 真理（聖霊病院看護部）
- 4-9-3 大腿骨近位部骨折術後における入院中転倒の実態と関連因子の検討～単施設後方視的コホート研究～  
田中 暢一（ベルランド総合病院クオリティ管理センター FLS 推進室）
- 4-9-4 大腿骨近位部骨折患者における転倒恐怖感の変化と歩行自立および在院日数との関係  
鳥居 美里（千里中央病院理学療法科）
- 4-9-5 大腿骨近位部骨折術後における転倒・転落者の移動能力、バランス能力について  
永井 智貴（ベルランド総合病院理学療法室）
- 4-9-6 人工股関節置換術は Fall Risk Index 5 item version による転倒リスク評価を改善する  
船橋 洋人（名古屋大学医学部附属病院整形外科）
- 4-9-7 転倒リスク評価（FRI-21）と FRAX<sup>®</sup>を組み合わせた転倒・骨折予防介入の有用性の検討  
齊藤 麻希（市立福知山市民病院看護部）
- 4-9-8 腰部脊柱管狭窄症患者における術前の前屈動作時の腰椎運動時間は術後 1 年間の転倒を予測するか～前向き観察研究～  
和田 崇（鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション部）
- 4-9-9 患者グループ分けによる FLS 活動の効率化と転倒・再骨折予防効果の検証  
竹内 悠真（寺本整形外科・内科リエゾンクリニックリハビリテーション科）

## ポスター 10 13:15～14:20

191

## 整形外科疾患 2 スポーツ・小児・教育

座長：篠原 靖司 立命館大学スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科 医師

- 4-10-1 高齢者の軽度認知障害および運動イメージ想起能力の低下が転倒に伴う骨折のリスクに及ぼす影響  
松永 好孝（倉敷市立市民病院リハビリテーション科）
- 4-10-2 整形外科病棟での転倒による外傷を予防する取り組み  
西森 一紘（高知医療センター整形外科病棟）
- 4-10-3 当院整形外科病棟における転倒の要因に関する事例検討  
坂口 光樹（藤田医科大学病院看護部）
- 4-10-4 訪問リハビリテーションにより地域参加と生活機能の再獲得に至った大腿骨頸部骨折術後患者の 1 例  
鈴木 悠斗（国立長寿医療研究センターリハビリテーション科）
- 4-10-5 全日本柔道連盟転倒外傷予防指導員養成講習会の効果と課題  
柵山 尚紀（東京大学医科学研究所附属病院外科）
- 4-10-6 小児における転倒時骨折予防の取り組み  
茂木 涼太（医療法人泰一会多摩北整形外科病院リハビリテーション課）
- 4-10-7 小児における Timed Up and Go Test を用いた転倒リスク評価  
藤田 陽菜乃（日本福祉大学リハビリテーション学科）
- 4-10-8 入院患者・施設入所者を対象とした動画による転倒予防教育の内容と効果～スコーピングレビュー～  
小野 淳二（下関市立大学看護学部看護学科）
- 4-10-9 高齢者の自律と健康寿命の延伸をめざした転倒・骨折予防における多職種連携の実践  
～フォーカスグループインタビューによる質的研究～  
川上 千春（浜松医科大学医学部臨床看護学講座）

栄養・通所サービス・施設・住環境

座長：上内 哲男 独立行政法人地域医療機能推進機構東京新宿メディカルセンターリハビリテーション室 理学療法士

4-11-1 転倒予防プロジェクトの活動 part3『食べる』からのアプローチ

小川 加代（社会福祉法人聖テレジア会聖ヨゼフ病院栄養科）

4-11-2 転倒未遂に着目した通所介護利用者の転倒リスク 3 段階の特徴

松田 大樹（株式会社ケアフォレストリハビリデイサービスアクティ桶川）

4-11-3 地域通所サービスにおける転倒リスク評価の標準化

～ FGA を中心とした多領域評価プロトコルの整備事例～

渡部 見（社会医療法人正和会潟上地域リハビリステーション）

4-11-4 短期集中予防サービス C からデイケアへ移行した利用者における転倒に関わる身体機能の経時的変化

野村 真平（介護老人保健施設野洲すみれ苑リハビリテーション科）

4-11-5 通所リハビリテーション利用者における転倒時行動別の身体機能特性

～認知・心理的因子の有無に着目して～

磯兼 直道（鵜飼リハビリテーション病院デイケアセンターリハビリテーション部）

4-11-6 小売業および社会福祉施設における転倒災害時の頭部外傷・脳損傷等に関する探索的検討

菅 知絵美（労働安全衛生総合研究所）

4-11-7 住環境設計グループワークが看護学生の転倒予防を意識した生活環境アセスメント能力の形成に及ぼす影響

稲村 真史（京都大学大学院工学研究科）

## 看護師・身体拘束最小化・認知症

座長：油野 規代 福井医療大学保健医療学部看護学科 看護師

- 4-12-1 転倒を契機とした高齢患者支援における診療看護師（NP）の実践  
～整形外科コマネジメントのハブ機能～  
中野 千春（独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター統括診療部）
- 4-12-2 「取り下げ」
- 4-12-3 適切なデバイス選択による転倒転落予防  
～看護師の価値観に左右されないフローチャートの導入と効果検証～  
小島 萌花（名古屋市立大学病院看護部）
- 4-12-4 当院における転倒予防対策の現状と課題～病棟の看護師・助産師へのアンケート調査から～  
松重 喜久恵（鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション部）
- 4-12-5 昼食時間帯のタイムスケジュール改善による転倒予防とケアの質向上  
柴田 淳子（トヨタ記念病院呼吸器センター）
- 4-12-6 転倒転落予防に向けた安全管理強化の実践と発生動向  
～身体拘束解除を推進する急性期病院における3年間の縦断分析～  
根立 美保（東京都立大塚病院 GCU）
- 4-12-7 身体的拘束最小化への組織的取り組みとその効果～行動抑制から行動支援へ～  
黒田 洋子（特定医療法人社団勝木会やわたメディカルセンター看護部）
- 4-12-8 背景にせん妄・認知障害を認める転倒転落事例の検討～身体拘束との関連を含めて～  
笠松 奈津子（医療法人溪仁会手稲溪仁会病院医療安全管理室）
- 4-12-9 当センター認知症対応病棟における転倒・転落の発生状況と特徴に関する後方視的調査  
小栗 慶斗（国立研究開発法人国立長寿医療研究センターリハビリテーション科部）